

資料 1 リスクシナリオに対応する既存施策

第5章 脆弱性の分析・評価 第1 マトリクスの作成 1 リスクシナリオに対応する既存施策 関係資料

リスクシナリオ(起きてはならない最悪の事態)に対応する既存施策、具体の事業・取組みの有無								
事前に備えるべき8つの目標	リスクシナリオ(起きてはならない最悪の事態)	行政機能	消防	教育文化設備	産業雇用	保健医療福祉環境	都市交通住宅・山治水	給水
1 人命の保護が最大限図られる	1-1 建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死者の発生	○	○			○	○	○
	1-2 不特定多数が集まる施設の倒壊・火災		○				○	
	1-3 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水						○	
	1-4 情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死者の発生	○	○	○		○	○	
	1-5 避難路における通行不能	○					○	
	1-6 広域の河川氾濫等に起因する浸水による死者の発生	○	○				○	
	1-7 豪雨や大地震に伴う大規模な土砂災害による多数の死者の発生	○	○				○	
	1-8 防災意識の低さによる避難行動の遅れに伴う死者の発生	○	○	○			○	
	1-9 地震により道路網寸断及び消火栓使用不能のため、火災が延焼拡大し死者が発生			○			○	
	1-10 事態把握の遅れ等による死者の発生							
2 救助・救急・医療活動に必要な対応(それ以外の場合も含む)	2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	○			○		○	○
	2-2 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	○	○			○		
	2-3 救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶		○			○		
	2-4 多数の帰宅困難者の発生	○				○	○	○
	2-5 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺		○			○		
	2-6 被災地における疫病・感染症等の大規模発生	○				○	○	
	2-7 災害救助における活動拠点、資機材等の不足	○	○			○	○	
	2-8 緊急輸送路等の途絶により救急・救命活動や支援物資の輸送ができない事態					○	○	
	2-9 多数の災害関連死の発生			○		○	○	
	2-10 救助・捜索活動が大量に発生し、遅延する事態		○			○	○	
3 行政機能を不確保する	3-1 市役所職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	○	○			○	○	
	3-2 災害時における市立東大医療センター等病院施設の浸水・倒壊等による医療機能の大幅な低下や停止					○		
	3-3 被災者へのきめ細やかな支援の不足による心身の健康被害の発生	○						
	3-4 防災関係機関や民間企業と連携がとれず災害対策が麻痺	○				○	○	
	3-5 甚大な被害を受けた近隣の市町村との相互応援体制が麻痺	○				○	○	○
4 情報伝達機能を不確保する	4-1 電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	○	○					
	4-2 テレビ、ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態	○						
	4-3 防災行政無線施設の損壊による情報提供機能の長期停止	○		○		○		
	4-4 情報通信の長期停止による災害情報が伝達できない事態	○						
5 経済活動を不全に陥らせない	5-1 サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下による国際競争力の低下(サプライチェーンの寸断等による地元企業の生産力低下により後年度にわたり取引が回復しない事態)						○	○
	5-2 社会経済活動、サプライチェーンの維持に必要なエネルギー供給の停止							
	5-3 重要な産業施設の損壊、火災、爆発等							
	5-4 金融サービス等の機能停止により商取引に甚大な影響が発生する事態							
	5-5 食料等の安定供給の停滞						○	○
	5-6 事業活動が再開できないことによる雇用状況の悪化や経済の停滞						○	
	5-7 観光業、商工業等あらゆる産業の被害拡大と産業の停滞						○	
	5-8 物流機能等の大幅な低下						○	
6 ライフライン(電気、情報通信、燃料等)の長期にわたる機能停止	6-1 上水道等の長期間にわたる供給停止							○
	6-2 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止					○	○	
	6-3 地域交通ネットワークが分断する事態						○	
	6-4 異常高水等により用水の供給の途絶							○
	6-5 避難所の機能不足等により避難者の生活に支障が出る事態	○		○		○		
	6-6 防災拠点、避難場所等(公共施設)における長期間にわたる電気、ガス、燃料の供給停止							
	6-7 ライフライン(電気、情報通信、燃料等)の長期にわたる機能停止	○				○		
	6-8 農業用水の長期間にわたる機能停止					○	○	
7 二次災害を発生させない	7-1 市街地での大規模火災の発生		○				○	
	7-2 沿線・沿道の建物等倒壊による直接的被害及び交通麻痺						○	
	7-3 ため池、防災施設等の損壊・機能不全による二次災害の発生						○	
	7-4 有害物質の大規模拡散・流出							
	7-5 農地・森林等の荒廃による被害の拡大					○	○	
	7-6 避難所等における環境の悪化(エコノミー症候群や精神的な苦痛)	○		○		○		
	7-7 住宅供給困難な状態が継続することによる長期にわたる避難所生活			○				
	7-8 原子力発電所の事故による放射性物質の放出	○				○		
	7-9 消火力低下等により、大規模延焼が発生する事態		○					
8 地域社会の復興を迅速にする	8-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態					○		
	8-2 道路開通等の復旧・復興を担う人材等(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足により復旧・復興が大幅に遅れる事態							
	8-3 地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態			○		○		
	8-4 道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態						○	
	8-5 被災者の住居や職の確保等の遅延による生活再建が大幅に遅れる事態	○						
	8-6 所有者不明・不在の空き家の増加等により、復旧・復興が大幅に遅れる事態						○	
	8-7 文化の魅力あふれるまちの復旧・復興が大幅に遅れる事態							

## 資料 1 リスクシナリオに対応する既存施策

第5章 脆弱性の分析・評価 第1 マトリクスの作成 1 リスクシナリオに対応する既存施策 関係資料

## (1) 行政機能

## 1 人命の保護が最大限図られる

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
1-1	建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	防災知識の普及啓発 【防災意識の向上】
1-4	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生	自主防災体制の整備 【自主防災組織活動の充実】 外国人に対する支援体制整備 【多言語対応による情報発信の強化】 災害情報収集伝達体制の整備 【防災行政無線・危機管理センター(防災情報システム含む。)の維持管理、多様な伝達手段の整備】 (再掲) 防災知識の普及啓発 【市主催防災講演会・防災イベント等の開催、ハザードマップ・地域版ハザードマップの活用、適切な情報取得方法と避難行動の周知啓発、(再掲) 防災意識の向上】
1-5	避難路における通行不能	(再掲) 自主防災体制の整備 【地域版ハザードマップの充実】
1-6	広域の河川氾濫等に起因する浸水による死傷者の発生	(再掲) 防災知識の普及啓発 【(再掲) 適切な情報取得方法と避難行動の周知啓発】
1-7	豪雨や大地震に伴う大規模な土砂災害による多数の死傷者の発生	(再掲) 防災知識の普及啓発 【(再掲) 適切な情報取得方法と避難行動の周知啓発】
1-8	防災意識の低さによる避難行動の遅れに伴う死傷者の発生	業務継続計画の適切な運用 【災害時活動マニュアルに基づく各部局における訓練実施の徹底】 (再掲) 防災知識の普及啓発 【(再掲) ハザードマップ・地域版ハザードマップの活用、(再掲) 市主催防災講演会・防災イベント等の開催、(再掲) 適切な情報取得方法と避難行動の周知啓発、(再掲) 防災意識の向上】 (再掲) 自主防災体制の整備 【(再掲) 自主防災組織活動の充実】

## 2 救助・救急、医療活動が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	防災訓練の実施 【市民・関係機関・企業等との連携による防災訓練の開催】 備蓄物資の充実 【備蓄物資の更新・充実】 受援体制の整備 【中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化、災害時協定先等民間企業との連携強化】 （再掲）防災知識の普及啓発 【市民による食糧・水・生活物資の備蓄促進】
2-2	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	（再掲）受援体制の整備 【自衛隊、警察、消防等との連携による市内拠点での訓練実施、（再掲）中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化、（再掲）災害時協定先等民間企業との連携強化】 （再掲）自主防災体制の整備 【（再掲）自主防災組織活動の充実】
2-4	多数の帰宅困難者の発生	（再掲）防災知識の普及啓発 【（再掲）市民による食糧・水・生活物資の備蓄促進】 （再掲）受援体制の整備 【（再掲）中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化、（再掲）災害時協定先等民間企業との連携強化】
2-6	被災地における疫病・感染症等の大規模発生	（再掲）備蓄物資の充実 【（再掲）備蓄物資の更新・充実】
2-7	災害救助における活動拠点、資機材等の不足	（再掲）受援体制の整備 【（再掲）中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化、（再掲）災害時協定先等民間企業との連携強化】
2-8	緊急輸送路等の途絶により救急・救命活動や支援物資の輸送ができない事態	（再掲）防災知識の普及啓発 【（再掲）市民による食糧・水・生活物資の備蓄促進】

## 3 必要不可欠な行政機能を確保する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
3-1	市役所職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	(再掲)業務継続計画の適切な運用 【業務継続計画に基づく課題の改善・部局別災害時活動マニュアルの活用】 (再掲)受援体制の整備 【(再掲)中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化、(再掲)災害時協定先等民間企業との連携強化】
3-3	被災者へのきめ細やかな支援の不足による心身の健康被害の発生	(再掲)職員の資質・能力の向上 【職員の避難所運営に関する能力向上】 (再掲)備蓄物資の充実 【(再掲)備蓄物資の更新・充実】 (再掲)防災訓練の実施 【(再掲)市民・関係機関・企業との連携による防災訓練の開催】 (再掲)防災知識の普及啓発 【(再掲)市民による食糧・水・生活物資の備蓄促進】 (再掲)受援体制の整備 【(再掲)中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化、(再掲)災害時協定先等民間企業との連携強化】
3-4	防災関係機関や民間企業と連携がとれず災害対策が麻痺	防災関係機関との連携強化【ホットラインの構築・確認】 職員の資質・能力の向上 【新規採用職員研修「本市の危機管理」の実施】 (再掲)受援体制の整備 【(再掲)中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化、(再掲)災害時協定先等民間企業との連携強化】
3-5	甚大な被害を受けた近隣の市町村との相互応援体制が麻痺	(再掲)受援体制の整備 【(再掲)中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化】

4 必要不可欠な情報通信機能を確保する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
4-1	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	庁舎設備機器の整備 【本庁舎の無停電電源装置の整備】
4-2	テレビ・ラジオ放送の中断等により災害情報が必要な者に伝達できない事態	市ウェブサイトの適切な運用管理 【遠隔地バックアップ環境保守利用】 (再掲)災害情報収集伝達体制の整備 【(再掲)多様な伝達手段の整備、(再掲)防災行政無線・危機管理センター(防災情報システムを含む。)の維持管理】
4-3	防災行政無線施設の損壊による情報提供機能の長期停止	(再掲)災害情報収集伝達体制の整備 【(再掲)多様な伝達手段の整備、(再掲)防災行政無線・危機管理センター(防災情報システムを含む。)の維持管理】
4-4	情報通信の長期停止による災害情報が伝達できない事態	情報通信体制の整備 【LGWANのバックアップ回線の敷設】 (再掲)災害情報収集伝達体制の整備 【(再掲)多様な伝達手段の整備、(再掲)防災行政無線・危機管理センター(防災情報システムを含む。)の維持管理】

6 生活・経済活動に必要最低限の電気・ガス・上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
6-5	避難所の機能不足等により避難者の生活に支障が出る事態	(再掲)職員の資質・能力の向上 【(再掲)職員の避難所運営に関する能力向上】 (再掲)受援体制の整備 【(再掲)中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化、(再掲)災害時協定先等民間企業との連携強化】
6-7	ライフライン(電気、情報通信、燃料等)の長期にわたる機能停止	(再掲)受援体制の整備 【(再掲)中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化、(再掲)災害時協定先等民間企業との連携強化】

7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
7-6	避難所等における環境の悪化（エコノミー症候群や精神的な苦痛）	（再掲）受援体制の整備 【（再掲）中核市災害相互応援協定など他自治体との連携強化】
7-8	原子力発電所の事故による放射性物質の放出	東大阪OFCマニュアルの活用 【放射性物質及び原子力防災に関する広報】

8 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
8-5	被災者の住居や職の確保等の遅延による生活再建が大幅に遅れる事態	東大阪市被災者生活再建支援システムの運用 【被災者生活再建支援システム維持・充実と関係部局による体制の構築】

## 資料 1 リスクシナリオに対応する既存施策

第5章 脆弱性の分析・評価 第1 マトリクスの作成 1 リスクシナリオに対応する既存施策 関係資料

## (2) 消防

## 1 人命の保護が最大限図られる

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
1-1	建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	防災訓練の実施 【「木造建物密集地域における大規模火災発生時にかかる警防計画」に基づく訓練の実施】 職員の資質・能力の向上 【救急救命士の養成・能力向上】
1-2	不特定多数が集まる施設の倒壊・火災	火災予防対策の推進による建物の安全性の向上 【火災予防対策の推進による建物の安全性の向上】
1-4	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生	外国人に対する支援体制整備 【消防行政に係る外国人対応体制の強化】
1-6	広域の河川氾濫等に起因する浸水による死傷者の発生	消防車両・資機材等の整備 【消防車両・資機材等の整備】 消防団の装備・訓練等の充実強化 【消防団の装備・訓練等の充実強化】 消防職・団員の育成と訓練の推進 【各種災害に対応できる消防職・団員の育成と訓練の推進】
1-7	豪雨や大地震に伴う大規模な土砂災害による多数の死傷者の発生	(再掲)消防車両・資機材等の整備 【(再掲)消防車両・資機材等の整備】 (再掲)消防団の装備・訓練等の充実強化 【(再掲)消防団の装備・訓練等の充実強化】 (再掲)消防職・団員の育成と訓練の推進 【(再掲)各種災害に対応できる消防職・団員の育成と訓練の推進】
1-8	防災意識の低さによる避難行動の遅れに伴う死傷者の発生	防災知識の普及啓発 【防災学習センターを核とした防災意識の向上】
1-9	地震により道路網寸断及び消火栓使用不能のため、火災が延焼拡大し死傷者が発生	(再掲)消防車両・資機材等の整備 【(再掲)消防車両・資機材等の整備】

2 救助・救急、医療活動が迅速に行われる (それがなされない場合の必要な対応を含む)

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
2-2	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	応急手当普及啓発の促進 【応急手当普及啓発の促進】 救急車適正利用の促進 【救急車適正利用の促進】 (再掲) 防災訓練の実施 【災害時の被害軽減に向けた地域防災力の向上】 (再掲) 消防団の装備・訓練等の充実強化 【(再掲) 消防団の装備・訓練等の充実強化】 (再掲) 消防職・団員の育成と訓練の推進 【(再掲) 各種災害に対応できる消防職・団員の育成と訓練の推進】 (再掲) 職員の資質・能力の向上 【(再掲) 救急救命士の養成・能力向上】
2-3	救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶	備蓄燃料の確保 【消防行政に係る備蓄燃料の確保】
2-5	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートへの途絶による医療機能の麻痺	災害時における消防と医療機関等との連携強化 【災害時における消防と医療機関等との連携強化】
2-7	災害救助における活動拠点、資機材等の不足	(再掲) 消防車両・資機材等の整備 【(再掲) 消防車両・資機材等の整備】 (再掲) 消防団の装備・訓練等の充実強化 【(再掲) 消防団の装備・訓練等の充実強化】
2-10	救助・捜索活動が大量に発生し、遅延する事態	(再掲) 消防団の装備・訓練等の充実強化 【(再掲) 消防団の装備・訓練等の充実強化】 (再掲) 消防職・団員の育成と訓練の推進 【(再掲) 各種災害に対応できる消防職・団員の育成と訓練の推進】

3 必要不可欠な行政機能を確保する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
3-1	市役所職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	消防職・団員用の備蓄食料等の整備 【消防職・団員用の備蓄食料等の整備】 (再掲) 職員の資質・能力の向上 【(再掲) 救急救命士の養成・能力向上】 (再掲) 消防団の装備・訓練等の充実強化 【(再掲) 消防団の装備・訓練等の充実強化】 (再掲) 消防職・団員の育成と訓練の推進 【(再掲) 各種災害に対応できる消防職・団員の育成と訓練の推進】

4 必要不可欠な情報通信機能を確保する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
4-1	電力供給停止等による情報通信の麻痺・長期停止	(再掲) 備蓄燃料の確保 【(再掲) 消防行政に係る備蓄燃料の確保】

7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
7-1	市街地での大規模火災の発生	(再掲) 防災訓練の実施 【(再掲) 「木造建物密集地域における大規模火災発生時にかかる警防計画」に基づく訓練の実施】
7-4	有害物質の大規模拡散・流出	危険物災害予防対策の推進 【危険物災害予防対策の推進】
7-9	消火力低下等により、大規模延焼が発生する事態	(再掲) 消防車両・資機材等の整備 【(再掲) 消防車両・資機材等の整備】

## 資料 1 リスクシナリオに対応する既存施策

第5章 脆弱性の分析・評価 第1 マトリックスの作成 1 リスクシナリオに対応する既存施策 関係資料

## (3) 教育・文化・協働

## 1 人命の保護が最大限図られる

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
1-4	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生	外国人に対する支援体制整備 【外国人に向けた多言語対応】
1-8	防災意識の低さによる避難行動の遅れに伴う死傷者の発生	学校における防災体制の確立 【学校園における防災マニュアルの作成、避難訓練】 学校における防災教育の推進 【防災教育の実施、教職員に対する防災意識醸成のための防災教育の充実】 業務継続計画の適切な運用 【社会教育施設における防災マニュアル作成】

## 2 救助・救急、医療活動が迅速に行われる (それがなされない場合の必要な対応を含む)

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
2-9	多数の災害関連死の発生	良好な避難所環境の整備 【小学校普通教室等への空調整備】

## 4 必要不可欠な情報通信機能を確保する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
4-3	防災行政無線施設の損壊による情報提供機能の長期停止	子ども安全連絡網整備 【ひがしおおさかスマイルネット事業】 東大阪市公衆無線LAN環境整備 【小学校無線LAN環境整備事業】

## 6 生活・経済活動に必要最低限の電気・ガス・上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
6-5	避難所の機能不足等により避難者の生活に支障が出る事態	良好な避難所環境の整備 【小学校普通教室等への空調整備】

7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
7-6	避難所等における環境の悪化（エコノミー症候群や精神的な苦痛）	(再掲)良好な避難所環境の整備 【(再掲)小学校普通教室等への空調整備】
7-7	住宅供給困難な状態が継続することによる長期にわたる避難所生活	(再掲)良好な避難所環境の整備 【(再掲)小学校普通教室等への空調整備】

8 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
8-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態	地域コミュニティの再生・活性化の推進 【地域コミュニティの再生・活性化するためのしくみの検討】

資料 1 リスクシナリオに対応する既存施策

第5章 脆弱性の分析・評価	第1 マトリクスの作成	1 リスクシナリオに対応する既存施策	関係資料
---------------	-------------	--------------------	------

（４）産業・雇用

2 救助・救急、医療活動が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	受援体制の整備 【協定締結事業者との連携強化】

6 生活・経済活動に必要な最低限の電気・ガス・上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
6-8	農業用水の長期間にわたる機能停止	都市農業活性化及び農地活用の促進 【都市農業活性化及び農地活用補助事業】

7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
7-5	農地・森林等の荒廃による被害の拡大	(再掲)都市農業活性化及び農地活用の促進 【(再掲)都市農業活性化及び農地活用補助事業】

## 資料 1 リスクシナリオに対応する既存施策

## 第5章 脆弱性の分析・評価 第1 マトリクスの作成 1 リスクシナリオに対応する既存施策 関係資料

## (5) 保健医療・福祉・環境

## 1 人命の保護が最大限図られる

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
1-1	建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	<p>建築物の耐震対策の促進  <b>【老人福祉施設等施設整備補助事業、民間保育園・民間認定こども園の老朽化に伴う増改築補助事業】</b>            業務継続計画の適切な運用  <b>【保育施設等の被害状況確認及び安全点検、公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の園児の安全確保と避難行動の実践】</b>            要配慮者利用施設の円滑かつ迅速な避難の確保  <b>【(再掲)公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の避難確保計画又は安全管理マニュアル(防災マニュアル)に基づく防災訓練の実施、市立障害児者支援センター利用者への緊急メール送信による災害時の施設情報の提供】</b></p>
1-4	情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生	<p>(再掲)要配慮者利用施設の円滑かつ迅速な避難の確保  <b>【(再掲)避難確保計画の整備、(再掲)公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の避難確保計画又は安全管理マニュアル(防災マニュアル)に基づく防災訓練の実施、(再掲)市立障害児者支援センター利用者への緊急メール送信による災害時の施設情報の提供】</b>            (再掲)業務継続計画の適切な運用  <b>【(再掲)保育施設等の被害状況確認及び安全点検、(再掲)公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の園児の安全確保と避難行動の実践】</b>            在宅の高齢者、障害者等の要配慮者対策の推進  <b>【避難行動要支援者名簿の活用】</b></p>
1-6	広域の河川氾濫等に起因する浸水による死傷者の発生	<p>(再掲)業務継続計画の適正な運用  <b>【(再掲)保育施設等の被害状況確認及び安全点検、(再掲)公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の園児の安全確保と避難行動の実践】</b>            (再掲)要配慮者利用施設の円滑かつ迅速な避難の確保  <b>【(再掲)避難確保計画の整備、(再掲)公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の避難確保計画又は安全管理マニュアル(防災マニュアル)に基づく防災訓練の実施】</b></p>
1-7	豪雨や大地震に伴う大規模な土砂災害による多数の死傷者の発生	<p>(再掲)業務継続計画の適正な運用  <b>【(再掲)保育施設等の被害状況確認及び安全点検、(再掲)公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の園児の安全確保と避難行動の実践】</b>            (再掲)要配慮者利用施設の円滑かつ迅速な避難の確保  <b>【(再掲)避難確保計画の整備、(再掲)公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の避難確保計画又は安全管理マニュアル(防災マニュアル)に基づく防災訓練の実施】</b></p>

<p>1-8</p>	<p>防災意識の低さによる避難行動の遅れに伴う死傷者の発生</p>	<p>(再掲) 在宅の高齢者、障害者等の要配慮者対策の推進                  【(再掲) 避難行動要支援者名簿の活用】                  (再掲) 業務継続計画の適切な運用                  【(再掲) 保育施設等の被害状況確認及び安全点検、(再掲) 公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の園児の安全確保と避難行動の実践】                  (再掲) 要配慮者利用施設の円滑かつ迅速な避難の確保                  【(再掲) 避難確保計画の整備、(再掲) 公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の避難確保計画又は安全管理マニュアル(防災マニュアル)に基づく防災訓練の実施】</p>
<p>1-9</p>	<p>地震により道路網寸断及び消火栓使用不能のため、火災が延焼拡大し死傷者が発生</p>	<p>(再掲) 業務継続計画の適切な運用                  【(再掲) 保育施設等の被害状況確認及び安全点検、(再掲) 公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の園児の安全確保と避難行動の実践】                  (再掲) 要配慮者利用施設の円滑かつ迅速な避難の確保                  【(再掲) 避難確保計画の整備、(再掲) 公立保育所・民間保育施設・公立及び民間認定こども園の避難確保計画又は安全管理マニュアル(防災マニュアル)に基づく防災訓練の実施】</p>

## 2 救助・救急、医療活動が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
2-2	自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足	災害拠点病院との連携強化 【災害拠点病院との連携強化】 受援体制の整備 【大阪府・圏域内保健所との連携強化、災害医療コーディネーターとの連携強化、災害医療支援チーム（DMAT等）との連携強化、災害医療支援 チーム受入体制の整備】
2-3	救助・救急、医療活動のためのエネルギー供給の長期途絶	（再掲）受援体制の整備 【（再掲）大阪府・圏域内保健所との連携強化、（再掲）災害医療支援チーム（DMAT等）との連携強化】
2-4	多数の帰宅困難者の発生	帰宅困難者支援体制の整備 【保護者が帰宅困難等の場合の園児の保護】
2-5	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶による医療機能の麻痺	職員の資質・能力の向上 【保健所職員の健康危機管理対応能力の向上】 （再掲）受援体制の整備 【医師会との連携強化、歯科医師会との連携強化、薬剤師会との連携強化、（再掲）大阪府・圏域内保健所との連携強化、（再掲）災害医療支援チーム（DMAT等）との連携強化、（再掲）災害医療支援チーム受入体制の整備】 （再掲）災害拠点病院との連携強化 【（再掲）災害拠点病院との連携強化】
2-6	被災地における疫病・感染症等の大規模発生	生活ごみ・災害廃棄物の適正処理 【生活ごみの適正処理、災害廃棄物の適正処理】 （再掲）職員の資質・能力の向上 【食品衛生監視員としての資質・能力の向上、環境衛生監視員の資質・能力の向上、被災地への保健師の派遣や関係する研修への積極的な参加】 （再掲）受援体制の整備 【（再掲）大阪府・圏域内保健所との連携強化、（再掲）災害医療支援チーム（DMAT等）との連携強化、（再掲）災害医療支援チーム受入体制の整備】
2-7	災害救助における活動拠点、資機材等の不足	資機材の整備 【災害用備蓄医療資機材の整備】 （再掲）災害拠点病院との連携強化 【（再掲）災害拠点病院との連携強化】 （再掲）受援体制の整備 【（再掲）大阪府・圏域内保健所との連携強化、（再掲）災害医療支援チーム（DMAT等）との連携強化、（再掲）災害医療支援チーム受入体制の整備、（再掲）薬剤師会との連携強化】
2-8	緊急輸送路等の途絶により救急・救命活動や支援物資の輸送ができない事態	（再掲）災害拠点病院との連携強化 【（再掲）災害拠点病院との連携強化】 （再掲）受援体制の整備 【（再掲）大阪府・圏域内保健所との連携強化、（再掲）災害医療支援チーム（DMAT等）との連携強化、（再掲）災害医療支援チーム受入体制の整備】

2-9	多数の災害関連死の発生	(再掲) 受援体制の整備 【(再掲) 大阪府・圏域内保健所との連携強化、(再掲) 災害医療コーディネーターとの連携強化、(再掲) 災害医療支援チーム(DMAT等)との連携強化、(再掲) 災害医療支援チーム受入体制の整備、(再掲) 医師会との連携強化、(再掲) 歯科医師会との連携強化】
2-10	救助・捜索活動が大量に発生し、遅延する事態	(再掲) 受援体制の整備 【(再掲) 大阪府・圏域内保健所との連携強化、(再掲) 災害医療コーディネーターとの連携強化、(再掲) 災害医療支援チーム(DMAT等)との連携強化、(再掲) 災害医療支援チーム受入体制の整備、(再掲) 医師会との連携強化、(再掲) 歯科医師会との連携強化】

### 3 必要不可欠な行政機能を確保する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
3-1	市役所職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	(再掲) 受援体制の整備 【災害ボランティアセンターとの連携、(再掲) 大阪府・圏域内保健所との連携強化、(再掲) 災害医療支援チーム(DMAT等)との連携強化、(再掲) 災害医療支援チームの受入体制整備、(再掲) 災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の受入体制整備】 (再掲) 職員の資質・能力の向上 【(再掲) 保健所職員の健康危機管理対応能力の向上】
3-2	災害時における市立東大阪医療センター等病院施設の浸水・倒壊等による医療機能の大幅な低下や停止	(再掲) 受援体制の整備 【(再掲) 大阪府・圏域内保健所との連携強化、(再掲) 災害医療支援チーム(DMAT等)との連携強化】
3-3	被災者へのきめ細やかな支援の不足による心身の健康被害の発生	(再掲) 受援体制の整備 【(再掲) 大阪府・圏域内保健所との連携強化、(再掲) 災害医療コーディネーターとの連携強化、(再掲) 災害医療支援チーム(DMAT等)との連携強化、(再掲) 災害医療支援チーム受入体制の整備、(再掲) 医師会との連携強化、(再掲) 歯科医師会との連携強化】
3-4	防災関係機関や民間企業と連携がとれず災害対策が麻痺	(再掲) 受援体制の整備 【(再掲) 大阪府・圏域内保健所との連携強化、(再掲) 医師会との連携強化、(再掲) 歯科医師会との連携強化、獣医師会との連携強化】
3-5	甚大な被害を受けた近隣の市町村との相互応援体制が麻痺	(再掲) 受援体制の整備 【〇民間環境衛生検査機関との災害時協定の締結の検討、(再掲) 大阪府・圏域内保健所との連携強化、(再掲) 災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の受入体制整備】

4 必要不可欠な情報通信機能を確保する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
4-3	防災行政無線施設の損壊による情報提供機能の長期停止	災害情報収集伝達体制の整備 【多様な情報伝達手段の充実】

6 生活・経済活動に必要な最低限の電気・ガス・上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
6-2	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止	(再掲) 受援体制の整備 【ごみ・し尿の広域的な相互支援体制確立】 (再掲) 生活ごみ・災害廃棄物の適正処理 【(再掲) 生活ごみの適正処理、(再掲) 災害廃棄物の適正処理】
6-5	避難所の機能不足等により避難者の生活に支障が出る事態	(再掲) 要配慮者配慮体制の整備 【福祉関係機関や福祉サービス事業者等との連携】
6-7	ライフライン(電気、情報通信、燃料等)の長期間にわたる機能停止	救援物資の確保 【市立障害児者支援センターにおける避難行動が困難な利用者への食糧・飲料水・生活必需品の備蓄による支援】

7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
7-4	有害物質の大規模拡散・流出	市内施設の監視指導 【平常時からの毒物劇物取扱施設に対する監視指導】 有害物質の大規模拡散・流出防止 【事業所からの有害化学物質の流出防止策の促進、産業廃棄物排出事業者・PCB廃棄物保管事業者・産業廃棄物処理業者・その他事業者への立入調査等】
7-6	避難所等における環境の悪化(エコノミー症候群や精神的な苦痛)	福祉避難所の充実 【福祉避難所の充実】 (再掲) 受援体制の整備 【(再掲) 大阪府・圏域内保健所との連携強化、(再掲) 災害医療支援チーム(DMAT等)との連携強化、(再掲) 災害医療支援チームの受入体制整備、(再掲) 災害医療コーディネーターとの連携強化】
7-8	原子力発電所の事故による放射性物質の放出	(再掲) 災害拠点病院との連携強化 【(再掲) 災害拠点病院との連携強化】 (再掲) 受援体制の整備 【(再掲) 大阪府・圏域内保健所との連携強化、(再掲) 医師会との連携強化】

8 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
8-1	大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態	(再掲)生活ごみ・災害廃棄物の適正処理 【(再掲)災害廃棄物の適正処理】 (再掲)受援体制の整備 【(再掲)ごみ・し尿の広域的な相互支援体制確立】
8-3	地域コミュニティの崩壊、治安の悪化等により復旧・復興が大幅に遅れる事態	(再掲)受援体制の整備 【(再掲)災害ボランティアセンターとの連携】

## 資料 1 リスクシナリオに対応する既存施策

## 第5章 脆弱性の分析・評価 第1 マトリクスの作成 1 リスクシナリオに対応する既存施策の現状

## (6) 都市・交通・住宅・治山治水

## 1 人命の保護が最大限図られる

リスクシナリオ	リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
1-1 建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	<p>緊急避難場所の整備 【布施公園(一時避難場所)整備事業、都市公園安全安心対策緊急総合支援事業(一時避難場所の都市公園バリアフリー化)、公園施設長寿命化対策支援事業(一時避難場所の機能を有する都市公園の改修)】</p> <p>鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【鉄軌道施設の耐震補強】</p> <p>重要路線に架る橋梁の修繕・補強 【重要路線に架る橋梁の修繕・補強】</p> <p>都市計画道路の整備 【高井田長堂線整備、太平寺上小阪線整備、小阪稲田線整備、足代荒川線整備、北山麓線整備、大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】</p> <p>駅前交通広場の整備 【永和駅前交通広場整備】</p> <p>連続立体交差事業の推進 【近鉄奈良線連続立体交差事業、連続立体交差事業関連側道(近鉄奈良線の高架化に伴う側道事業)】</p> <p>密集住宅市街地整備促進 【防災道路拡幅事業、木造賃貸住宅不燃化事業】</p> <p>市立施設の耐震化 【市有建築物耐震化整備計画に基づく市立施設の耐震化】</p> <p>市営住宅の耐震化 【公営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅の耐震化】</p> <p>管理不全な空き家の発生・放置予防対策 【空き家の適正管理及び流通・利活用等の啓発の推進】</p>
1-2 不特定多数が集まる施設の倒壊・火災	<p>(再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】</p> <p>(再掲)市立施設の耐震化 【(再掲)市有建築物耐震化整備計画に基づく市立施設の耐震化】</p> <p>民間建築物の耐震化促進 【民間建築物耐震化促進補助金事業、要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進補助金事業】</p>
1-3 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水	<p>雨水増補管等整備 【既設管の流下能力を補うために新たに整備する管きよの整備(新岸田堂幹線他)、雨水排水施設の整備】</p> <p>既設下水道施設の耐震化 【下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)、下水道が最低限有すべき機能を確保するための施設の耐震化】</p> <p>ポンプ運転調整 【下水道ポンプ場からの放流制限】</p> <p>施設の老朽化対策(下水道ストックマネジメント計画の推進) 【ポンプ場施設・設備の改築、既設管きよの点検・調査】</p> <p>治水施設の整備 【淀川水系大川都市基盤河川改修事業、河川改修事業】</p>
1-4 情報伝達の不備等による避難行動の遅れ等で多数の死傷者の発生	<p>防災関係機関の災害対応力の向上 【寝屋川流域大規模水害タイムラインの運用】</p>

1-5	避難路における通行不能	<p>(再掲)連続立体交差事業の推進          【(再掲)近鉄奈良線連続立体交差事業、(再掲)連続立体交差事業関連側道(近鉄奈良線の高架化に伴う側道事業)】</p> <p>(再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強          【(再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強】</p> <p>(再掲)都市計画道路の整備          【(再掲)高井田長堂線整備、(再掲)太平寺上小阪線整備、(再掲)小阪稲田線整備、(再掲)足代荒川線整備、(再掲)北山麓線整備、(再掲)大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】</p> <p>(再掲)駅前交通広場の整備          【(再掲)永和駅前交通広場整備】</p> <p>(再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上          【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】</p> <p>(再掲)既設下水道施設の耐震化          【(再掲)下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)】</p> <p>(再掲)施設の老朽化対策(下水道ストックマネジメント計画の推進)          【(再掲)ポンプ場施設・設備の改築、(再掲)既設管きよの点検・調査】</p>
1-6	広域の河川氾濫等に起因する浸水による死傷者の発生	<p>(再掲)ポンプ運転調整          【(再掲)下水道ポンプ場からの放流制限】</p> <p>(再掲)治水施設の整備          【(再掲)淀川水系大川都市基盤河川改修事業、河川改修事業】</p> <p>(再掲)防災関係機関の災害対応力の向上          【(再掲)寝屋川流域大規模水害タイムラインの運用】</p>
1-7	豪雨や大地震に伴う大規模な土砂災害による多数の死傷者の発生	<p>私有林の保全【私有林の保全】          防災上課題が少ない地域への居住誘導          【東大阪市立地適正化計画の周知】          土砂災害防災支援          【がけ地近接等危険住宅移転事業】</p>

2 救助・救急、医療活動が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	(再掲) 緊急避難場所の整備 【花園中央公園(広域避難場所)の整備】
2-4	多数の帰宅困難者の発生	(再掲) 緊急避難場所の整備 【(再掲)花園中央公園(広域避難場所)の整備】
2-6	被災地における疫病・感染症等の大規模発生	(再掲) 雨水増補管等整備 【(再掲) 既設管の流下能力を補うために新たに整備する管きよの整備(新岸田堂幹線他)、 (再掲) 雨水排水施設の整備】 (再掲) 既設下水道施設の耐震化 【(再掲) 下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)、 (再掲) 下水道が最低限有すべき機能を確保するための施設の耐震化】
2-7	災害救助における活動拠点、資機材等の不足	(再掲) 緊急避難場所の整備 【(再掲) 花園中央公園(広域避難場所)の整備】
2-8	緊急輸送路等の途絶により救急・救命活動や支援物資の輸送ができない事態	(再掲) 都市計画道路の整備 【(再掲) 高井田長堂線整備、(再掲) 太平寺上小阪線整備、(再掲) 小阪稲田線整備、(再掲) 足代荒川線整備、(再掲) 北山麓線整備、(再掲) 大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】 (再掲) 駅前交通広場の整備 【(再掲) 永和駅前交通広場整備】 (再掲) 連続立体交差事業の推進 【(再掲) 近鉄奈良線連続立体交差事業、(再掲) 連続立体交差事業関連側道(近鉄奈良線の高架化に伴う側道事業)】 (再掲) 既設下水道施設の耐震化 【(再掲) 下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)】
2-10	救助・捜索活動が大量に発生し、遅延する事態	(再掲) 緊急避難場所の整備 【(再掲) 花園中央公園(広域避難場所)の整備】

3 必要不可欠な行政機能を確保する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
3-1	市役所職員・施設等の被災による機能の大幅な低下	受援体制の整備 【現地確認や緊急措置支援など日本下水道事業団との協定運用】 下水道BCP 【下水道BCPの運用】
3-4	防災関係機関や民間企業と連携がとれず災害対策が麻痺	(再掲) 防災関係機関の災害対応力の向上 【(再掲) 寝屋川流域大規模水害タイムラインの運用】 (再掲) 下水道BCP 【(再掲) 下水道BCPの運用】

5 経済活動（サプライチェーンを含む）を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
5-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下による国際競争力の低下（サプライチェーンの寸断等による地元企業の生産力低下により後年度にわたり取引が回復しない事態）	(再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強 【(再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強】 (再掲)都市計画道路の整備 【(再掲)高井田長堂線整備、(再掲)太平寺上小阪線整備、(再掲)小阪稲田線整備、(再掲)足代荒川線整備、(再掲)北山麓線整備、(再掲)大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】 (再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】 (再掲)既設下水道施設の耐震化 【(再掲)下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)】 (再掲)雨水増補管等整備 【(再掲)既設管の流下能力を補うために新たに整備する管きよの整備(新岸田堂幹線他)、(再掲)雨水排水施設の整備】
5-5	食料等の安定供給の停滞	(再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強 【(再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強】 (再掲)都市計画道路の整備 【(再掲)高井田長堂線整備、(再掲)太平寺上小阪線整備、(再掲)小阪稲田線整備、(再掲)足代荒川線整備、(再掲)北山麓線整備、(再掲)大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】 (再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】
5-6	事業活動が再開できないことによる雇用状況の悪化や経済の停滞	大阪モノレール南伸 【大阪モノレール南伸事業】 (再掲)連続立体交差事業の推進 【(再掲)近鉄奈良線連続立体交差事業】 (再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強 【(再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強】 (再掲)都市計画道路の整備 【(再掲)高井田長堂線整備、(再掲)太平寺上小阪線整備、(再掲)小阪稲田線整備、(再掲)足代荒川線整備、(再掲)北山麓線整備、(再掲)大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】 (再掲)駅前交通広場の整備 【(再掲)永和駅前交通広場整備】 (再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】
5-7	観光業、商工業等あらゆる産業の被害拡大と産業の停滞	(再掲)大阪モノレール南伸 【(再掲)大阪モノレール南伸事業】 (再掲)連続立体交差事業の推進 【(再掲)近鉄奈良線連続立体交差事業】 (再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強 【(再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強】 (再掲)都市計画道路の整備 【(再掲)高井田長堂線整備、(再掲)太平寺上小阪線整備、(再掲)小阪稲田線整備、(再掲)足代荒川線整備、(再掲)北山麓線整備、(再掲)大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】 (再掲)駅前交通広場の整備 【(再掲)永和駅前交通広場整備】 (再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】

5-8	物流機能等の大幅な低下	(再掲)連続立体交差事業の推進 【(再掲)近鉄奈良線連続立体交差事業】 (再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強 【(再掲)重要路線に架る橋梁の修繕・補強】 (再掲)都市計画道路の整備 【(再掲)高井田長堂線整備、(再掲)太平寺上小阪線整備、(再掲)小阪稲田線整備、(再掲)足代荒川線整備、(再掲)北山麓線整備、(再掲)大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】 (再掲)駅前交通広場の整備 【(再掲)永和駅前交通広場整備】 (再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】 (再掲)既設下水道施設の耐震化 【(再掲)下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)】
-----	-------------	---

6 生活・経済活動に必要な最低限の電気・ガス・上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
6-2	汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止	(再掲)既設下水道施設の耐震化 【(再掲)下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)】 (再掲)施設の老朽化対策(下水道ストックマネジメント計画の推進) 【(再掲)ポンプ場施設・設備の改築、(再掲)既設管きよの点検・調査】
6-3	地域交通ネットワークが分断する事態	(再掲)大阪モノレール南伸 【(再掲)大阪モノレール南伸事業】 道路の維持管理・補修 【道路橋定期点検事業、管理橋梁の維持管理・補修、道路路面空洞調査】 (再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】 (再掲)連続立体交差事業の推進 【(再掲)近鉄奈良線連続立体交差事業、(再掲)連続立体交差事業関連側道(近鉄奈良線の高架化に伴う側道事業)】 (再掲)都市計画道路の整備 【(再掲)高井田長堂線整備、(再掲)太平寺上小阪線整備、(再掲)小阪稲田線整備、(再掲)足代荒川線整備、(再掲)北山麓線整備、(再掲)大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】 (再掲)駅前交通広場の整備 【(再掲)永和駅前交通広場整備】 (再掲)既設下水道施設の耐震化 【(再掲)下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)】
6-8	農業用水の長期間にわたる機能停止	農業用水路の改修【六郷水路改修事業】

## 7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
7-1	市街地での大規模火災の発生	<p>(再掲)緊急避難場所の整備 【(再掲)布施公園(一時避難場所)整備事業、(再掲)都市公園安全安心対策緊急総合支援事業(一時避難場所の都市公園バリアフリー化)、(再掲)公園施設長寿命化対策支援事業(一時避難場所の機能を有する都市公園の改修)】</p> <p>(再掲)連続立体交差事業の推進 【(再掲)近鉄奈良線連続立体交差事業、(再掲)連続立体交差事業関連側道(近鉄奈良線の高架化に伴う側道事業)】</p> <p>(再掲)密集住宅市街地整備促進 【(再掲)防災道路拡幅事業、(再掲)木造賃貸住宅不燃化事業】</p>
7-2	沿線・沿道の建物等倒壊による直接的な被害及び交通麻痺	<p>(再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】</p> <p>(再掲)都市計画道路の整備 【(再掲)高井田長堂線整備、(再掲)太平寺上小阪線整備、(再掲)小阪稲田線整備、(再掲)足代荒川線整備、(再掲)北山麓線整備、(再掲)大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】</p> <p>(再掲)駅前交通広場の整備 【(再掲)永和駅前交通広場整備】</p> <p>(再掲)連続立体交差事業の推進 【(再掲)近鉄奈良線連続立体交差事業、(再掲)連続立体交差事業関連側道(近鉄奈良線の高架化に伴う側道事業)】</p> <p>(再掲)民間建築物の耐震化促進 【(再掲)民間建築物耐震化促進補助金事業】</p>
7-3	ため池、防災施設等の損壊・機能不全による二次災害の発生	<p>(再掲)既設下水道施設の耐震化 【(再掲)下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)】</p> <p>(再掲)下水道BCP 【(再掲)下水道BCPの運用】</p> <p>(再掲)受援体制の整備 【(再掲)現地確認や緊急措置支援など日本下水道事業団との協定運用】</p>
7-5	農地・森林等の荒廃による被害の拡大	<p>(再掲)私有林の保全 【(再掲)私有林の保全】</p> <p>(再掲)農業用水路の改修 【(再掲)六郷水路改修事業】</p>

8 地域社会・経済が迅速に再建・回復できる条件を整備する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
8-4	道路等の基幹インフラの損壊により復旧・復興が大幅に遅れる事態	(再掲)大阪モノレール南伸 【(再掲)大阪モノレール南伸事業】 (再掲)鉄軌道施設の防災・安全性等向上 【(再掲)鉄軌道施設の耐震補強】 (再掲)都市計画道路の整備 【(再掲)高井田長堂線整備、(再掲)太平寺上小阪線整備、(再掲)小阪稲田線整備、(再掲)足代荒川線整備、(再掲)北山麓線整備、(再掲)大阪瓢箪山線(恩智川以東)道路拡幅】 (再掲)道路の維持管理・補修 【(再掲)道路橋定期点検事業、(再掲)管理橋梁の維持管理・補修、(再掲)道路路面空洞調査】 (再掲)駅前交通広場の整備 【(再掲)永和駅前交通広場整備】 (再掲)連続立体交差事業の推進 【(再掲)近鉄奈良線連続立体交差事業、(再掲)連続立体交差事業関連側道(近鉄奈良線の高架化に伴う側道事業)】 (再掲)既設下水道施設の耐震化 【(再掲)下水道総合地震対策(下水ポンプ場・緊急輸送路等に埋設されている下水道管の耐震化)】 (再掲)受援体制の整備 【(再掲)現地確認や緊急措置支援など日本下水道事業団との協定運用】 (再掲)下水道BCP 【(再掲)下水道BCPの運用】
8-6	所有者不明・不存在の空き家の増加等により、復旧・復興が大幅に遅れる事態	(再掲)管理不全な空き家の発生・放置予防対策 【空き家の所有者特定の徹底及びデータベース化】

資料 1 リスクシナリオに対応する既存施策

第5章 脆弱性の分析・評価 第1 マトリクスの作成 1 リスクシナリオに対応する既存施策 関係資料

(7) 給水

1 人命の保護が最大限図られる

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
1-1	建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生	応急給水体制の整備 【飲料水兼用耐震性貯水槽の整備】

2 救助・救急、医療活動が迅速に行われる（それがなされない場合の必要な対応を含む）

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
2-1	被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止	上水道施設の更新及び耐震化 【配水池の耐震化、停電等対策の強化】 上水道管路の更新及び耐震化 【管路の更新及び耐震化、重要給水施設への配水ルートの耐震化、管路の耐震ネットワークの構築】 応急給水施設の整備及び維持管理 【浄配水場等の拠点給水施設の整備、あんしん給水栓（大阪広域水道企業団送水管、市配水幹線）の整備、応急給水施設の維持管理】 応急・復旧用資機材の備蓄 【応急・復旧用給水資機材の備蓄】 給水危機管理の機能強化 【マニュアルの作成・見直しと研修・訓練の実施】 受援体制の整備 【大阪府・近隣都市・日本水道協会・大阪広域水道企業団・上水道専門業者等との連携強化】 防災知識の普及啓発 【飲料水等の家庭備蓄啓発・災害時給水拠点位置の周知等】
2-4	多数の帰宅困難者の発生	(再掲) 応急給水体制の整備 【(再掲) 飲料水兼用耐震性貯水槽の整備】 (再掲) 応急給水施設の整備及び維持管理 【(再掲) 浄配水場等の拠点給水施設の整備、(再掲) あんしん給水栓（大阪広域水道企業団送水管、市配水幹線）の整備、(再掲) 応急給水施設の維持管理】 (再掲) 応急・復旧用資機材の備蓄 【(再掲) 応急・復旧用給水資機材の備蓄】

3 必要不可欠な行政機能を確保する

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
3-5	甚大な被害を受けた近隣の市町村との相互応援体制が麻痺	(再掲) 受援体制の整備 【(再掲) 大阪府・近隣都市・日本水道協会・大阪広域水道企業団・上水道専門業者等との連携強化】

5 経済活動（サプライチェーンを含む）を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
5-1	サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下による国際競争力の低下（サプライチェーンの寸断等による地元企業の生産力低下により後年度にわたり取引が回復しない事態）	(再掲) 上水道施設の更新及び耐震化 【(再掲) 配水池の耐震化、(再掲) 停電等対策の強化】 (再掲) 上水道管路の更新及び耐震化 【(再掲) 管路の更新及び耐震化、(再掲) 重要給水施設への配水ルートの耐震化、(再掲) 管路の耐震ネットワークの構築】
5-5	食料等の安定供給の停滞	(再掲) 上水道施設の更新及び耐震化 【(再掲) 配水池の耐震化、(再掲) 停電等対策の強化】 (再掲) 上水道管路の更新及び耐震化 【(再掲) 管路の更新及び耐震化、(再掲) 重要給水施設への配水ルートの耐震化、(再掲) 管路の耐震ネットワークの構築】

6 生活・経済活動に必要な最低限の電気・ガス・上下水道、燃料、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る

リスクシナリオ		リスクシナリオに対応する既存施策、具体の事業・取組み
6-1	上下水道等の長期間にわたる供給停止	(再掲) 上水道施設の更新及び耐震化 【(再掲) 配水池の耐震化、(再掲) 停電等対策の強化】 (再掲) 上水道管路の更新及び耐震化 【(再掲) 管路の更新及び耐震化、(再掲) 重要給水施設への配水ルートの耐震化、(再掲) 管路の耐震ネットワークの構築】 (再掲) 応急給水施設の整備及び維持管理 【(再掲) 浄配水場等の拠点給水施設の整備、(再掲) あんしん給水栓(大阪広域水道企業団送水管、市配水幹線)の整備、(再掲) 応急給水施設の維持管理】 (再掲) 応急・復旧用資機材の備蓄 【(再掲) 応急・復旧用給水資機材の備蓄】 (再掲) 給水危機管理の機能強化 【(再掲) マニュアルの作成・見直しと研修・訓練の実施】 (再掲) 支援体制の整備 【(再掲) 大阪府・近隣都市・日本水道協会・大阪広域水道企業団・上水道専門業者等との連携強化】 (再掲) 防災知識の普及啓発 【(再掲) 飲料水等の家庭備蓄啓発・災害時給水拠点位置の周知等】
6-4	異常濁水等により用水の供給の途絶	(再掲) 支援体制の整備 【(再掲) 大阪府・近隣都市・日本水道協会・大阪広域水道企業団・上水道専門業者等との連携強化】

